

国内DMARC統計と その傾向

25 twofive



1. はじめに

メールは、消費者へのダイレクトマーケティングや取引先とのやりとりなど、ビジネスシーンでコミュニケーションツールとして広く利用されています。ですが、近年では組織内でのコミュニケーションはテキストチャットツールが、消費者への通知方法としては SNS やスマートフォンアプリなどに代替されつつあります。

その一方で、組織に対するサイバー攻撃の入り口としては依然としてメールが大きな割合を占めています（注1）。

これらサイバー攻撃の手法の一つとして組織のメールアドレスを詐称して、その取引先を騙して金銭を詐取する、あるいはマルウェアに感染させる「なりすましメール」がよく知られています。

こういった状況から、2012年にはDMARC（Domain-based Message Authentication, Reporting and Conformance）と呼ばれる対策技術が策定され、海外では導入が進んでいます。しかし、国内では一部の組織では導入され、効果が出ているものの、海外のような導入状況には至っていないのが実情です。

この資料では、なりすましメール対策の一つであるDMARCの国内での導入状況とその傾向について業界別で分析し、DMARCを効果的に活用するための製品をご紹介します。

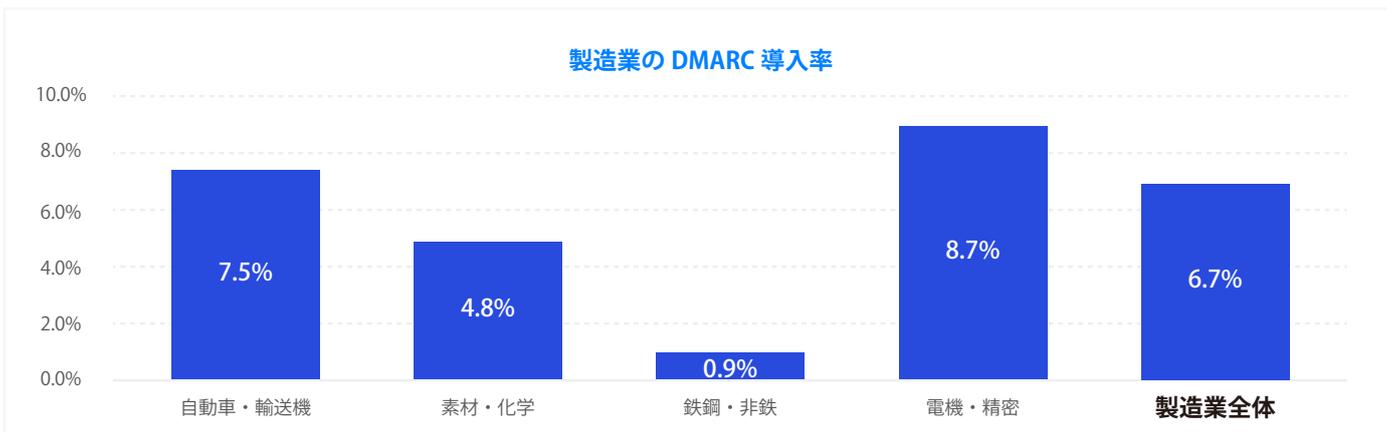
（注1）情報セキュリティ10大脅威 2021(<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2021.html>)

2. 送信ドメイン認証技術 DMARC

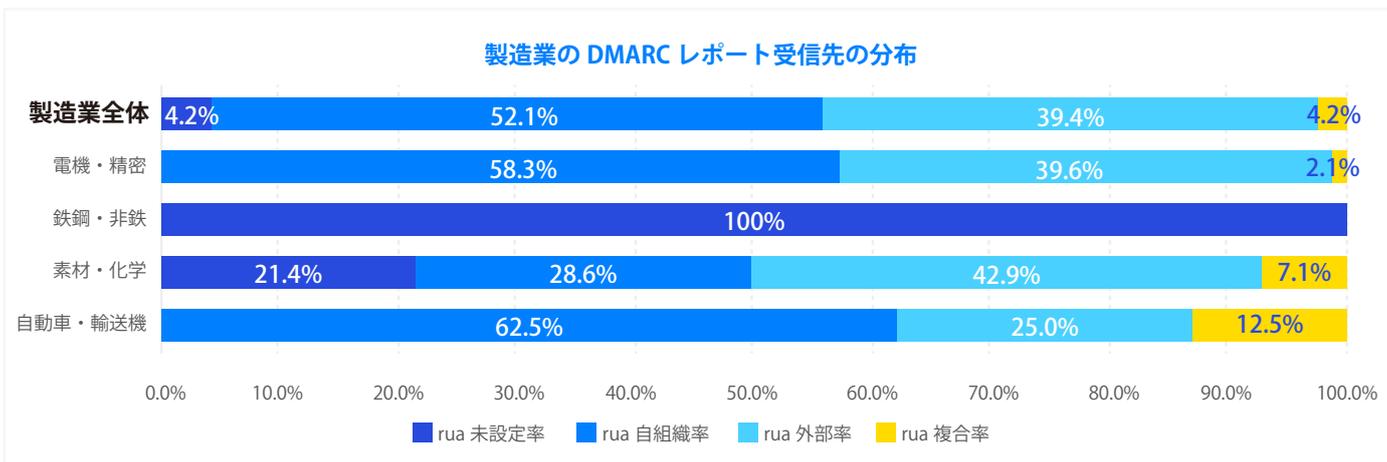
DMARCは、送信ドメイン認証（SPF、DKIM）と組み合わせて使用する認証技術で、SPF/DKIM認証に失敗したメールを受信側がどう処理するか（隔離する、拒否するなど）を、送信元（ドメイン管理側）がポリシー設定します。該当メールを受信した側は、ポリシーに従って処理したメールの認証結果データをDMARCレポートとして送信元に提供することで、送信元はメールが確実に届いているか、自組織ドメインを詐称したメールが送られていないかなどを把握することができます。

3. 製造業 DMARC 対応状況

ここでは、製造業（自動車・輸送機、素材・化学、鉄鋼・非鉄、電機・精密）のうち、株式を上場している企業のメールアドレス（注2）について、DMARC レコードが設定されているかを調査した結果を示します。



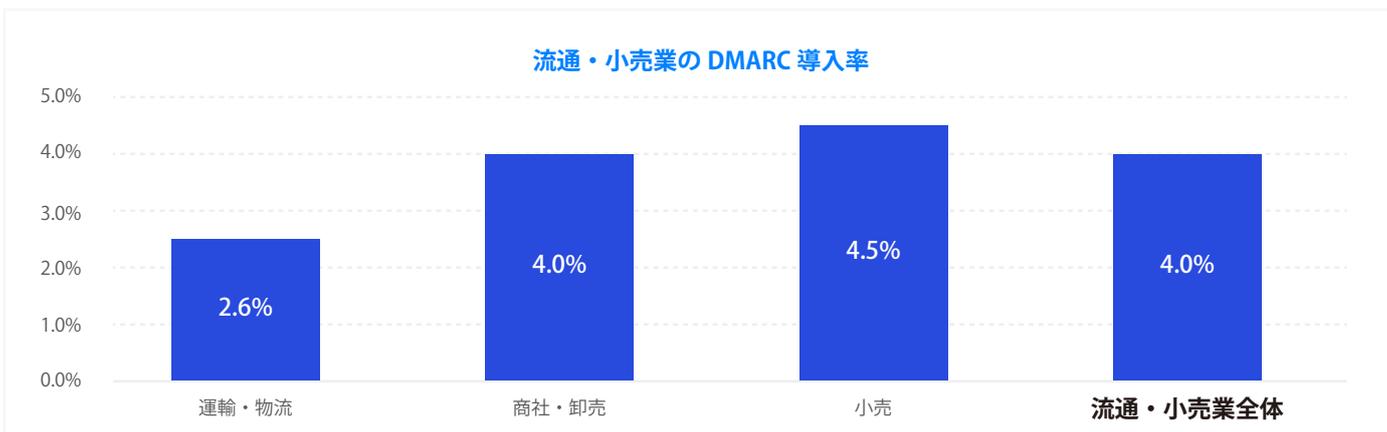
- ・調査対象メールアドレス数は、1060
- ・「自動車・輸送機」の調査対象メールアドレス数は、107
- ・「素材・化学」の調査対象メールアドレス数は、294
- ・「鉄鋼・非鉄」の調査対象メールアドレス数は、108
- ・「電機・精密」の調査対象メールアドレス数は、551
- ・IT 関連企業が多い「電機・精密」では比較的 DMARC 導入率が高い傾向



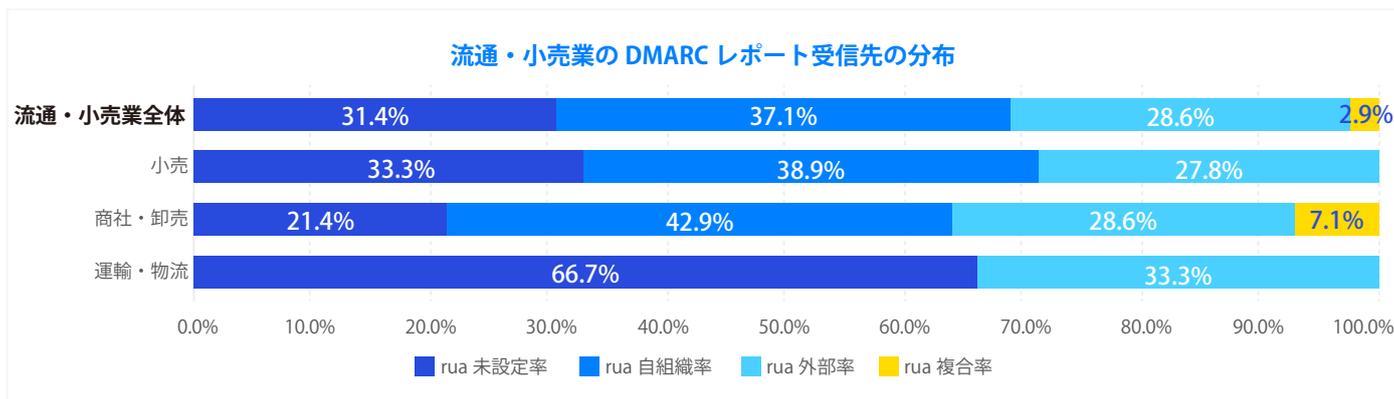
- ・「素材・化学」では、DMARC 設定のみで DMARC レポート受信先を指定しないケースが比較的多い（3 ドメイン）

4. 流通・小売業 DMARC 対応状況

ここでは、流通・小売業（運輸・物流、商社・卸売、小売）のうち、株式を上場している企業のメールアドレス（注2）について、DMARC レコードが設定されているかを調査した結果を示します。



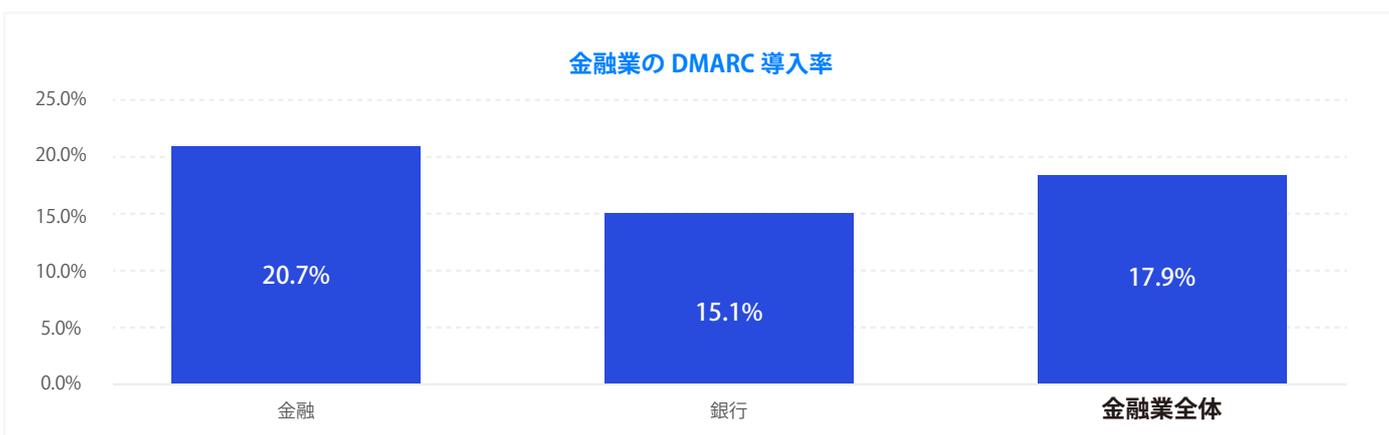
- ・調査対象のメールアドレス数は、866
- ・「運輸・物流」の調査対象メールアドレス数は、114
- ・「商社・卸売」の調査対象メールアドレス数は、348
- ・「小売」の調査対象メールアドレス数は、404
- ・全体平均と比較して「運輸・物流」の分野では、DMARC 導入率が低い傾向



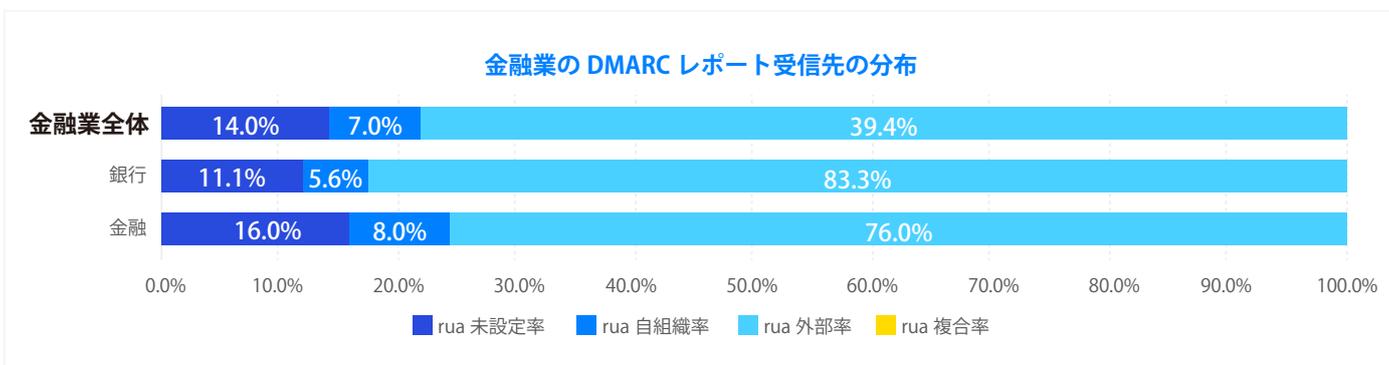
・全体として、DMARC ポリシー設定のみで、DMARC レポート受信先を指定しないケースが比較的多い（11 ドメイン）

5. 金融業 DMARC 対応状況

ここでは、金融業（金融、銀行）のうち、株式を上場している企業のメールアドレス（注2）について、DMARC レコードが設定されているかを調査した結果を示します。



- ・調査対象のメールアドレス数は、240
- ・「銀行」の調査対象のメールアドレス数は、119
- ・「金融」の調査対象のメールアドレス数は、121
- ・業界全体として DMARC 導入率が高い

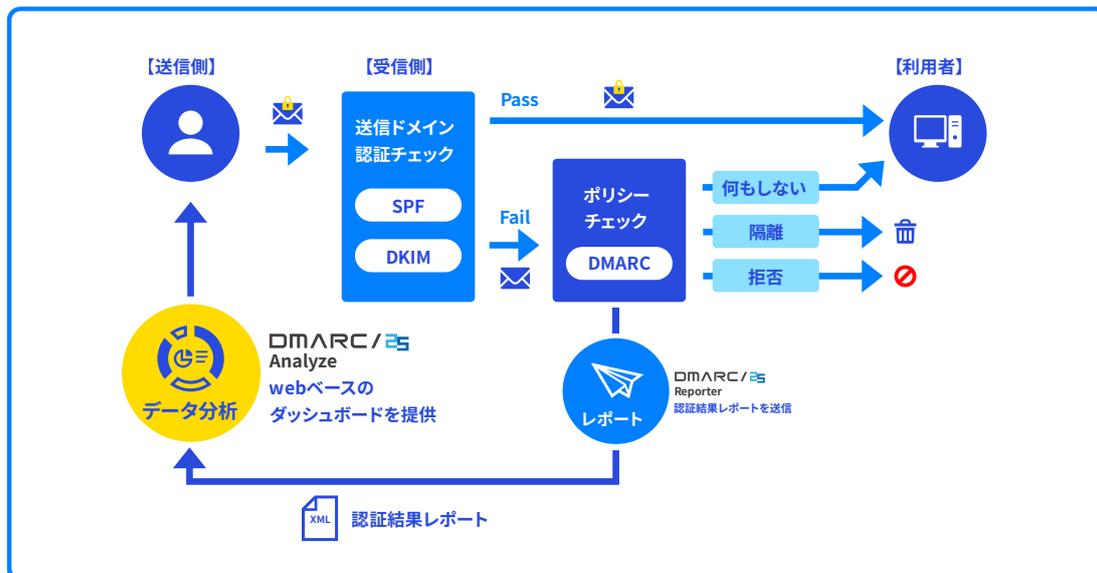


- ・DMARC レポート受信先をアウトソーシングしている傾向があり、rua 外部率および rua 複合率が高い
- ・一方で、DMARC レポート受信先を設定していないドメインも多い（6 ドメイン）

（注2）ドメイン名のうち、MX レコードが設定され、かつ SPF レコードが設定されたメールアドレス

6. DMARC レポート分析サービスのご紹介

株式会社 TwoFive は、DMARC レポート集計および分析の支援サービス「DMARC/25 Analyze」を提供しています。



DMARC/25 Analyze では、個別に洗い出したメールアドレスを DMARC レコード (rua タグ) に指定していただき、代理で取得した DMARC レポートを「送信ホスト別」「送信ドメイン別」「DKIM セレクター別」などで分類し、お客様のメール環境を可視化します。



- ・上記は DMARC/25 Analyze の実際の操作画面。ホストやドメインごとのメール送信状況を、自社サーバー / 転送サーバー / スパム発生源の3つのアイコンで分類したり、認証レポートの結果をグラフ化して、簡単になりすまし対策の状況を把握することができます。

株式会社 twofive

株式会社 TwoFive は、電子メールの信頼性と安全性の向上するためのさまざまなソリューションをご提供しています。お客様の課題を解決するため、大規模電子メールシステムの経験豊富なスタッフが最適なソリューションをご提案いたします。

会社名	株式会社 TwoFive
本社所在地	〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-1-4 画廊ビル 3F
海外拠点	TT01-37 Mon City, Ham Nghi, My Dinh 2, Nam Tu Liem, Hanoi, Vietnam ※ハノイにサポート、開発チームがあります。
設立	2014年5月
代表取締役	未政 延浩
主な事業内容	メッセージングシステム / メッセージングセキュリティ / スレットインテリジェンス
お問い合わせ先	Mail : info@twofive25.com / TEL : 03-5704-9948 / FAX : 050-3730-1342